

インフラマネジメントへの脱皮！

政策研究大学院大学

家田 仁

■インフラへの信頼を揺るがす種々の災害・事故・事件

2026年 R8 熊本地震・千葉県豪雨など：断層変位と内水問題

2025年 八潮下水道ST(1983年竣功)起因の道路陥没事故

2024年 自動車メーカー各社のあいつぐ車両検査データ改竄事件

2024年 北海道新幹線工期の大幅遅れ（'35⇒'30⇒'38）

2024年 能登半島地震：インフラは十分に本来の機能を発揮したか？

2021年 和歌山市水管橋落橋事故

2021年 熱海伊豆山土石流災害：統合的な国土マネジメントの欠陥

2019年 東日本豪雨・2018年 西日本豪雨（未完の偏在を語らないハザードマップの限界性）

2016年 熊本地震

2013年 JR北海道の線路検査データの改竄事件

2012年 中央自動車道笹子トンネル天井版落下事故（インフラメンテ元年、「最後の警告：本格的なマネジメントに舵を切れ」）

「道路の老朽化対策の本格的実施に関する提言」

社会資本整備審議会道路分科会建議

2014年4月（2012年12月**笹子トンネル事故**を踏まえて）

最後の警告：今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ

静かに危機は進行している

すでに警鐘は鳴らされている

行動を起こす最後の機会は今

国土交通省

「下水道に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」

第三次提言（2025年11月）

→**2026年7月・下水道法/道路法等改正**

信頼されるインフラのためのマネジメントの戦略的転換

- 新設＋メンテナンス ⇒ 「**マネジメント**」への転換
- 新たなマネジメントの **5つの道すじ**
 - 1) 2つの「**見える化**」
 - 2) 2つの「**メリハリ**」
 - 3) 現場（リアルワールド）に「**もっと光を**」
 - 4) 「**統合的マネジメント**」の構築
 - 5) 改革推進の政治的「**モメンタム**」

道路橋の点検結果の市町村別ランク

上位 (25%)

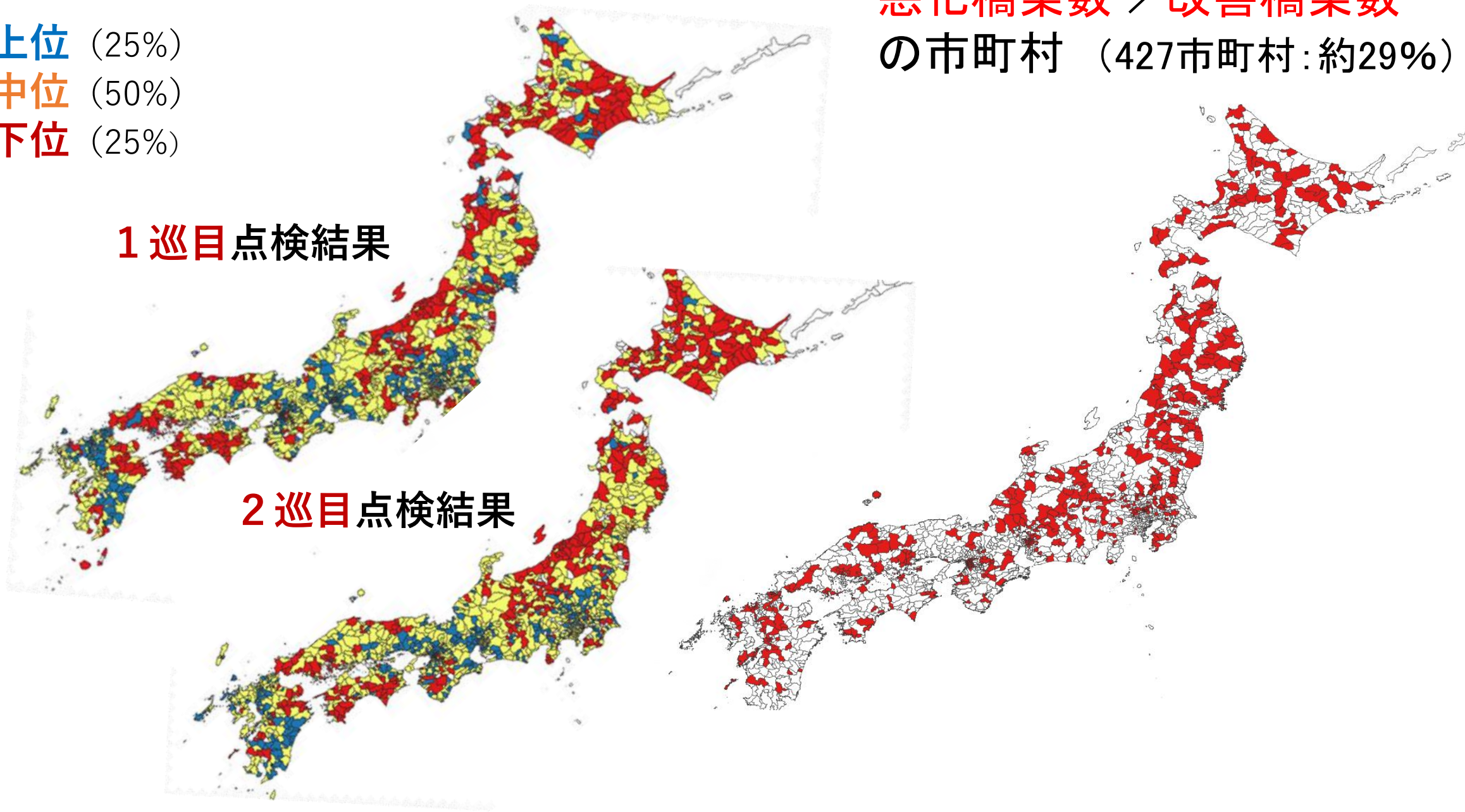
中位 (50%)

下位 (25%)

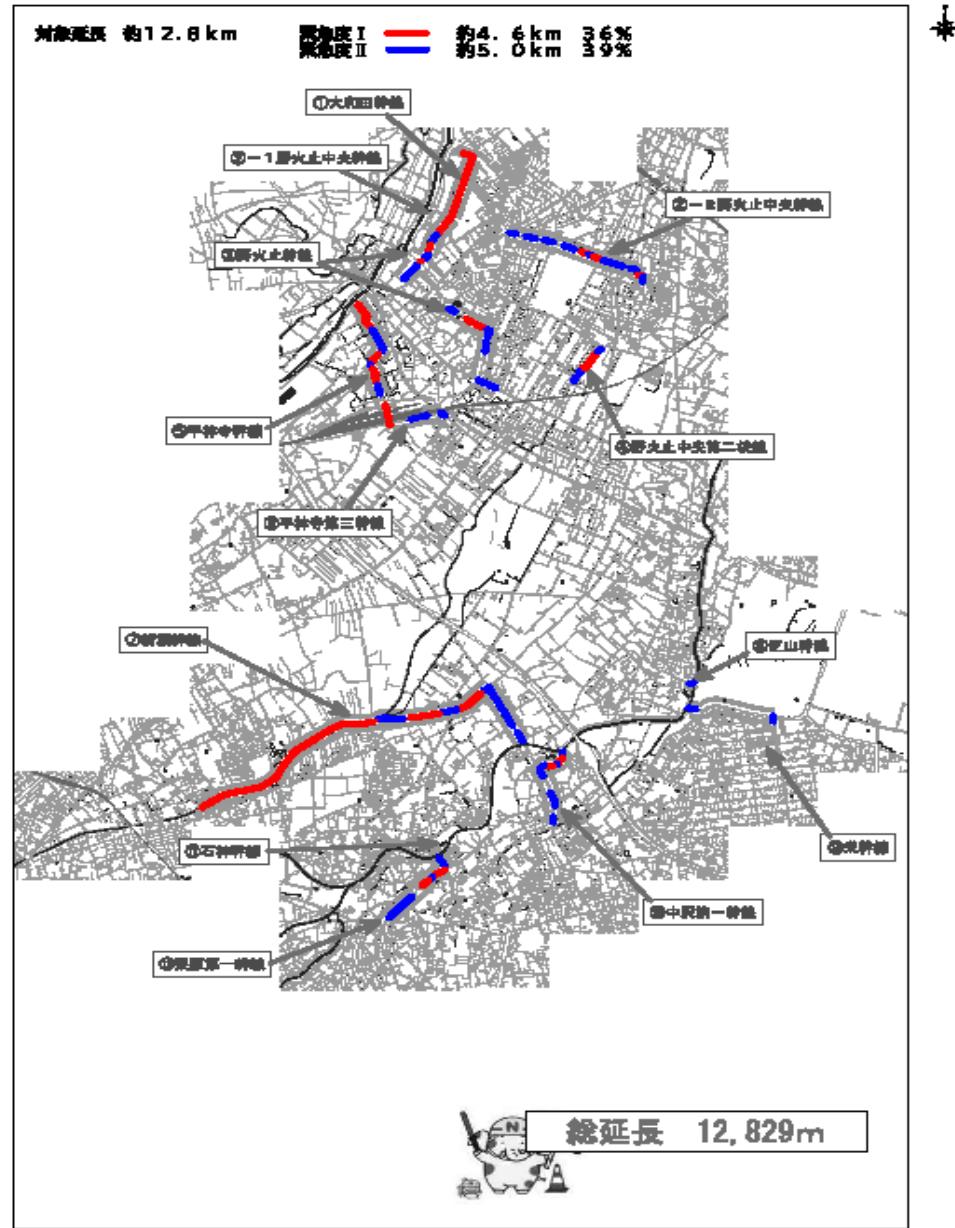
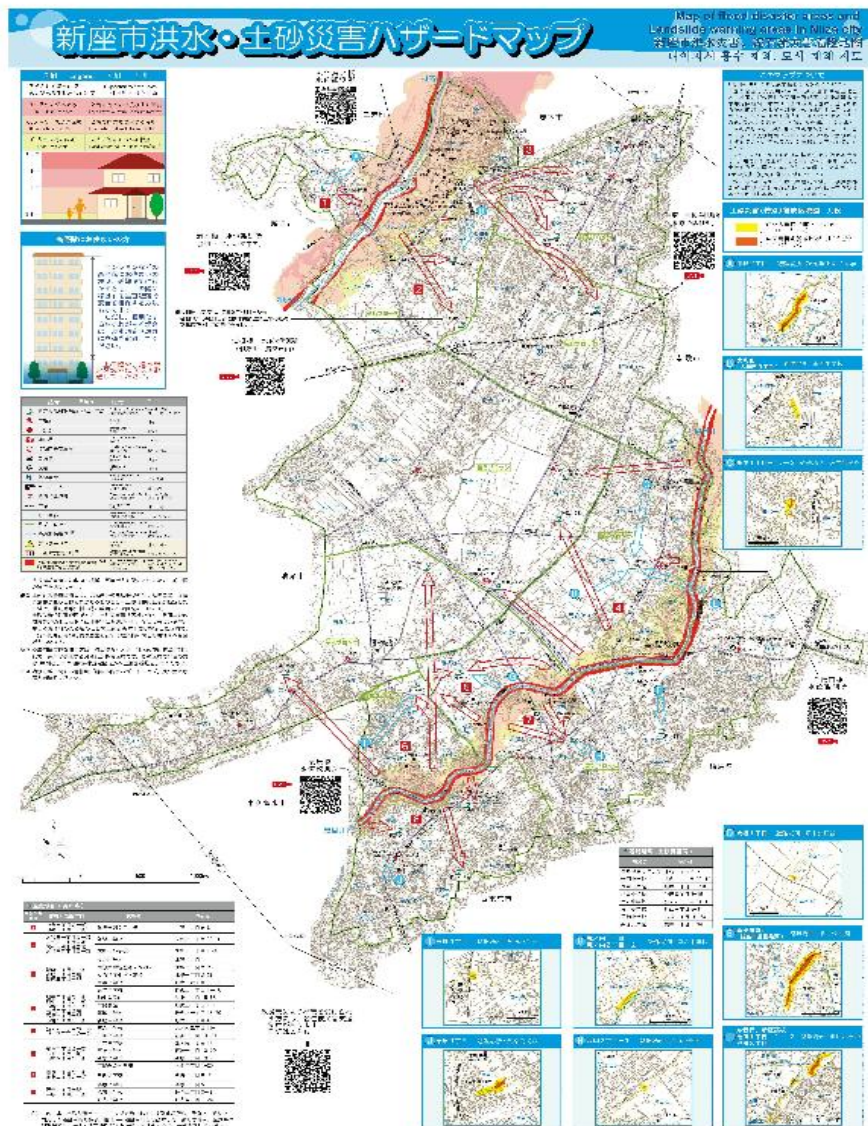
悪化橋梁数 > 改善橋梁数
の市町村 (427市町村: 約29%)

1 巡目点検結果

2 巡目点検結果

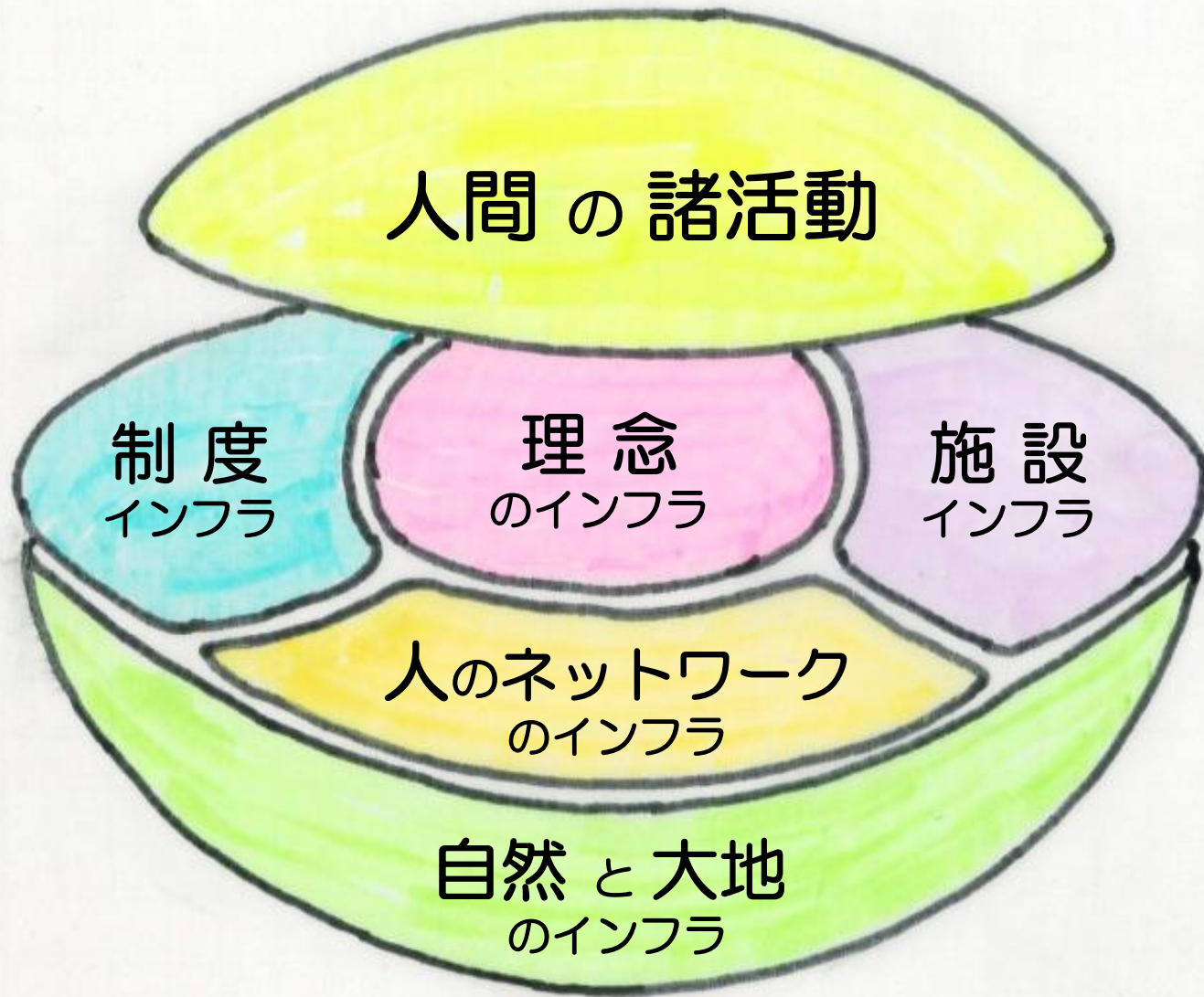


埼玉県新座市 洪水・土砂災害ハザードマップと下水道緊急重点調査結果（2026年6月）



インフラ全般に共通する政策の基本的転換の必要性

- ① 「**新たに作る**」の時代「作る行為」の目的化 ⇒ 「つくる」から「まもる」へ
⇒ 広義の**インフラマネジメント**への止揚的転換
 - a) 現状把握と評価 b)維持・更新・除却 c)改良・進化・新設理念と基本的な仕組みを定める「**インフラマネジメント基本法**」が必要
- ② 整備理念の転換：「**水平展開**」の時代 ⇒ 「**垂直展開**」の時代へ
 - 拡げる・普及させる ニーズ転換・技術革新への対応
 - 「質」への回帰、進化指向
- ③ 縦割り・個別主義の時代 ⇒ 「**統合的マネジメント**」の時代へ
キャッチアップ型の大量整備時代 DXを駆使して分野を越えた連携・連動
- ④ 「**わたしたち性**」の再生と「**わがこと化**」の推進



インフラと人間活動

インフラとは：

- ① **多くの人々**(わたしたち)のために、
- ② **共有価値**（福利・正義・安全…）の**確保・向上**を目指し、
- ③ 人々の**活動の基盤**となる、
- ④ **有形・無形**の存在

「インフラ性」とは：

- 1) 人間活動への**基盤性**
- 2) **わたしたち性**
- 3) **共有の価値基盤**（**理念インフラ**）
- 4) 一定の**継続性**